

100周年記念祝賀会

経済学部創立 100 周年に寄せて

上智大学ソフィア会 会長
和 泉 法 夫

経済学部創立 100 周年おめでとうございます。

上智大学の誕生とともに商科が設立され当時 10 名の入学者からスタートして、上智大学の発展・成長に多大な貢献をされてきた経済学部に関心と敬意を表します。今日の上智大学の名声は、経済学部の創立以来の教員による、知と精神の基盤づくりにリーダーシップを発揮された結果だと思えます。

また学部同窓会としても、経済学部創立 75 周年記念大会時に学部同窓生と教員を含む同窓会設立が提案され、翌年の平成元年に当時の佐藤眞一学部長のもと教授会の全面的な協力を得て経済学部同窓会（経鷲会・初代会長 伍堂光雄氏）が設立されました。今年で創立 25 周年を迎えますが、この間、歴代学部長を初め学部の先生方のご協力と同窓会役員の皆さんのご尽力により、経済学部卒業生、現役学生および教員との相互の交流・相互支援・情報交換など経済学部同窓生にとって、「有益なネットワーク」を作りあげられました。このことは、他の学部の同窓会の設立のモデルとして大きく貢献し、上智大学創立 100 周年の年に理工学部同窓会（会員数 約 17,000 人）・法学部同窓会（会員数 約 14,000 人）の学部同窓会が相次いで設立される要因となりました。

さて、上智大学の同窓会の歴史は、1937 年に上智大学全学同窓会（ソフィア会）として設立され、今日では会員数も 12 万人を超える規模になりました。ソフィア会は、全世界の卒業生を繋ぐ全学の同窓会組織として、経済学部同窓会をはじめとした学部同窓生・教員の参加する学部同窓会（3）、また有志が中心になり設立された地域・各種ソフィア会は、海外（62）・国内の地域（81）及び学部・学科ゼミ、課外活動団体、業種別など（112）の併せて 258 団体にのぼり、それぞれ連携して会員相互の親睦と上智大学への貢献を目的に様々な活動を展開しています。

そして、上智大学で学んだ卒業生は、建学以来、上智の名前の由来でもあるフィロソフィ（叡智をあらわす言葉）にあるように人間学・ヒューマニズムを学び、さまざまな国からの留学生・教官・神父さんとの異文化交流を自然に実践できる環境のなかでグローバル・コンピテンシーを身につけ、また「他者のために他者とともに」「ヒューマニズムと国際性」を学び、いつの時代も社会の貧困はじめグローバルな課題と立ち向かい変革する担い手として様々な分野で活躍してきました。多くの卒業生が異口同音に「人間に対する洞察力をもって国際社会で活躍できるのは上智大学で学んだお陰です」と語るのは上智大学の建学の精神とそれを教育する先生方のご努力のお蔭と感謝申し上げます。

このような、上智大学の建学の精神と教育理念が、卒業生のなかに自然と母校への物心両面で支えていこうという気持ちが醸成されてきたものと思えます。上智大学創立 100 周年記念募金では卒業生の募金目標である 10 億 5 千万円を大きく上回り大学全体の募金目標の 30% をこえる募金協力が出来ているのもこの表れだと思えます。また経済学部同窓会が毎年、学生への研究奨励金を授与されているのもその結果だと思えます。

今年創立100周年を迎えた上智大学はこれからも国際社会で活躍する人材を生みだしつづけ、さらに次の100年の人材育成に貢献していくためにも、卒業生の協力・貢献は不可欠です。教職員と卒業生が一体となってこれからの上智大学の発展を支えていく時代だと思えます。

経済学部創立100周年をお祝いするとともに、常に上智大学をリードしてきた経済学部の教職員・同窓生の皆様がこれからもリーダーシップを発揮され、先頭に立っていただくことを念願してお祝いの言葉とさせていただきます。